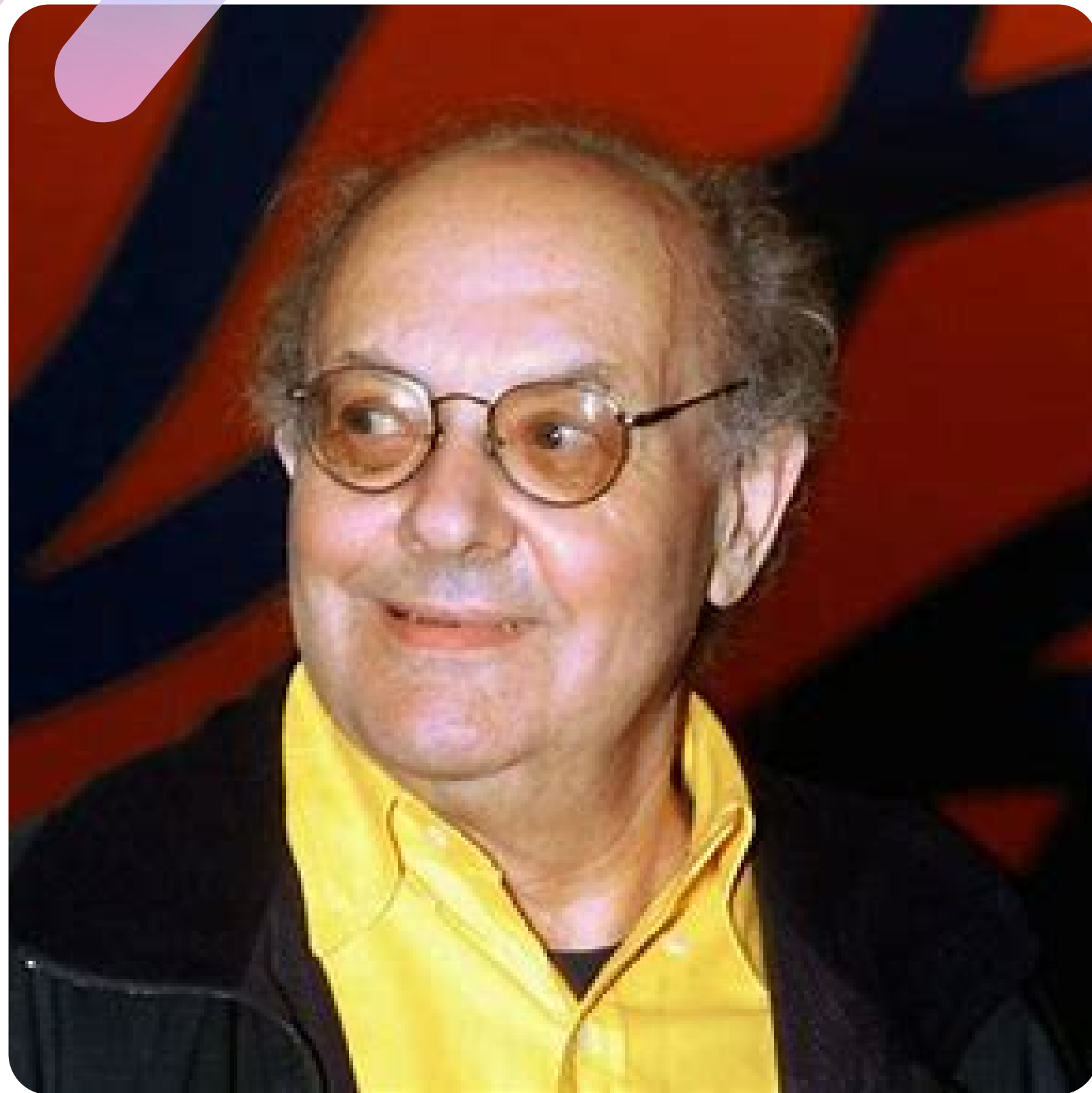


# ソル・ルウィット

221113 福島葵



## ソル・ルウィット

- 1928年 米国コネチカット州生まれ
- 美術大学卒業後、MoMAでグラフィックの仕事に従事
- 1960年代からニューヨークでアーティストとして活動
- コンセプチュアル・アート／ミニマル・アートの先駆者
- 2007年 死去（享年78）



# コンセプチュアル・アートとは


1960年代後半に登場

「作品＝物」ではなく「作品＝アイデア」

アーティスト本人が制作せず、指示書に従って他人が制作してもよい

視覚的作品ではなく「考え」そのものを重視

美術の定義を根底から問い直す運動



# ミニマル・アートとの関係

共通点：単純な形、反復、幾何学的構成

ミニマルアート：視覚体験・素材重視（例：ドナルド・ジャッド）

ソル・ルウィット：論理構造・概念の可視化を重視

同じ表現でも「思想の深度」に違いあり



## Wall Drawingシリーズ

壁に直接描かれた幾何学的ドローイング

1968年『Wall Drawing #1』から開始

描くのは「指示書をもとにした他人」

展示後に消されることも多く、一時的で儚い芸術

作品の本質は「構想とプロセス」



# Incomplete Open Cubes

12辺から構成される立方体の「部分的な欠損」を体系化

欠損パターンを全122通りに分類

数学的な構造思考 × 芸術表現

美術と論理、構造、数理的秩序の融合



# ソル・ルウィットの思想

「アイデアは芸術作品の機械である」

制作は実行ではなく設計と思考の産物

作者が制作を行わなくても、考えを記した指示書が芸術

アーティスト＝設計者という新しい視点を提示



# 現代アートへの影響

以降のアートに以下のような影響

- ・ インスタレーション（空間全体を作品とする）
- ・ メディアアート（データ・言語・映像も表現）
- ・ 参加型アート（観客が成立要素になる）

「誰でも再制作できるアート」＝新しい作品観の始まり



ご覧いただき  
ありがとうございました